

阪神高速道路(株)における 業務の入札・契約方式 (概要)

2021年10月



目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1) 若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1) Hi-TeLus (ハイテラス: 阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1) ワンデーレスポンス
 - (2) ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

I-1. 入札・契約に関する関係法令等

- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1) 若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1) Hi-TeLus (ハイテラス: 阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1) ワンデーレスポンス
 - (2) ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

I-1. 入札・契約に関する関係法令等

背景・目的

■公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)

(平成17年4月1日施行、平成26年6月4日改正、令和元年6月14日改正)

- 価格及び品質等の多様な要素を考慮し、総合的に優れた内容の契約による品質の確保
- 民間事業者の能力の適切な評価、並びに技術提案及び創意工夫の活用
- 建設業を取り巻く環境の変化や課題(働き方改革の推進、生産性向上)に対応する品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保
- 公共工事に関する調査等(測量、地質調査その他の調査及び設計)について広く本法律の対象として位置付け

■公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針

(平成17年8月26日閣議決定、平成26年9月30日改正、令和元年10月18日一部変更)

- 技術的能力の審査の実施<企業・技術者の資格審査、経験の技術審査等>
- 多様な入札及び契約の方法<企業の積極的な技術提案の引き出し、技術提案等による評価等>

(参考資料)

■建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン(国土交通省)

(平成21年3月策定、平成23年6月改定、平成25年4月改定、平成27年3月改定、平成27年11月改定、令和3年3月一部改定)

- 平成17年に品確法が施行され、平成20年に総合評価落札方式が建設コンサルタント業務に本格導入

■発注関係事務の運用に関する指針(国土交通省) (平成27年1月30日策定、令和2年1月30日改正)

- 品確法第22条に基づく発注関係事務の適切な実施に係る制度の運用に関する指針

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

I-1. 入札・契約に関する関係法令等

I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要

I-3. 発注方式の選定の考え方

I-4. 業務の公告～契約までの流れ

I-5. 総合評価落札方式の評価方法

I-6. プロポーザル方式の評価方法

I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

II-1. 担い手確保・育成

(1) 若手技術者の配置を促す入札契約方式

II-2. 業務効率化の推進

(1) Hi-TeLus (ハイテラス: 阪神高速・工事情報等共有システム)

II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組

(1) ワンデーレスポンス

(2) ウィークリースタンス

II-4. 業務成果の品質確保

(1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要

概要

(1) 総合評価落札方式

業務価格及び技術提案書等を総合的に考慮して落札者を決定する方式

(2) プロポーザル方式

技術提案の内容と企業や技術者の能力を総合的に評価することにより建設コンサルタント等を特定する方式

I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要

業務内容、発注額に応じた入札・契約方式

WTO特定調達に係る対象金額 6900万円以上 【2021年度時点】	公募型 競争入札方式 (原則として総合評価落札方式)	公募型 プロポーザル方式
5000万円以上	簡易公募型 競争入札方式 (原則として総合評価落札方式)	簡易公募型 プロポーザル方式
250万円超	簡易公募型 競争入札方式 (原則として総合評価落札方式) (手続簡略型)	簡易公募型 プロポーザル方式 (手続簡略型)

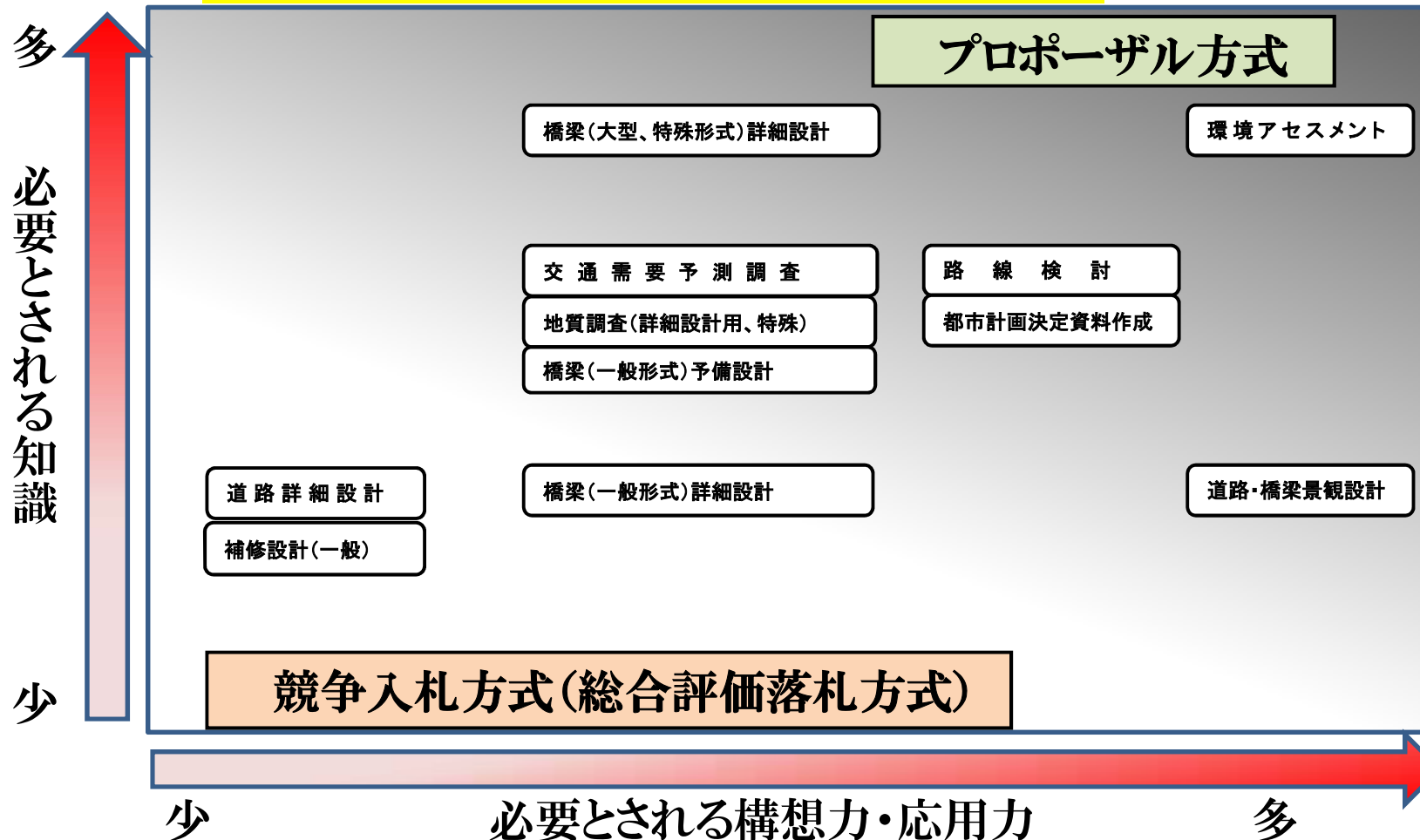


少	必要とされる知識 必要とされる構想力・応用力	多
---	---------------------------	---

I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及び プロポーザル方式の概要

業務内容に応じた入札・契約方式

標準的な業務内容に応じた発注方式例(道路事業)



目次

【Ⅰ．総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方**
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

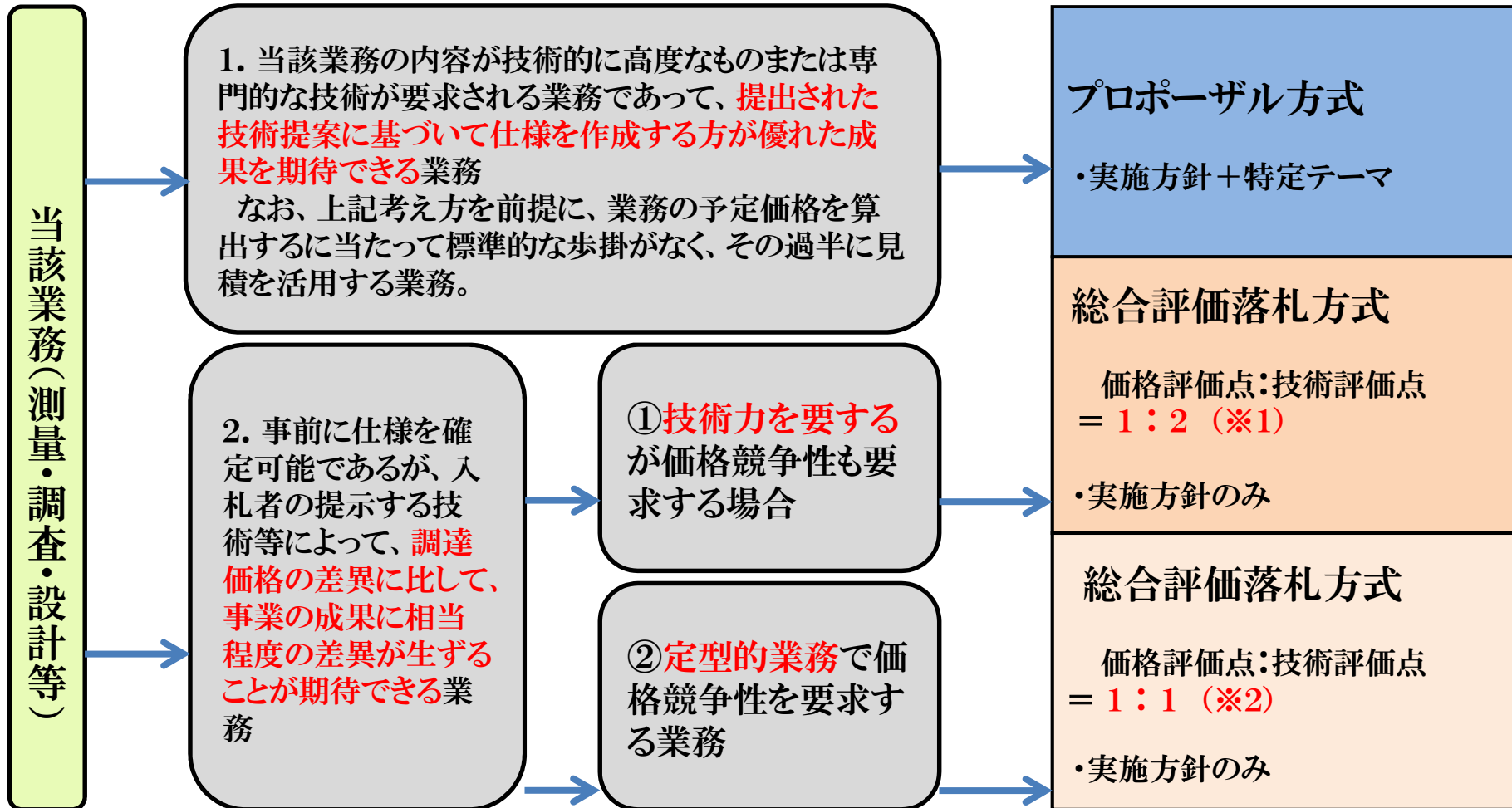
【Ⅱ．業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

I-3. 発注方式の選定の考え方

発注方式の選定フロー

発注方式



※1：価格評価点：技術評価点 = 1：2 とすることを標準とするが、比率は発注案件の特性に合わせて設定されるため、各業務の比率は入札説明書を参照。

※2：価格評価点：技術評価点 = 1：1 とすることを標準とするが、比率は発注案件の特性に合わせて設定されるため、各業務の比率は入札説明書を参照。

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

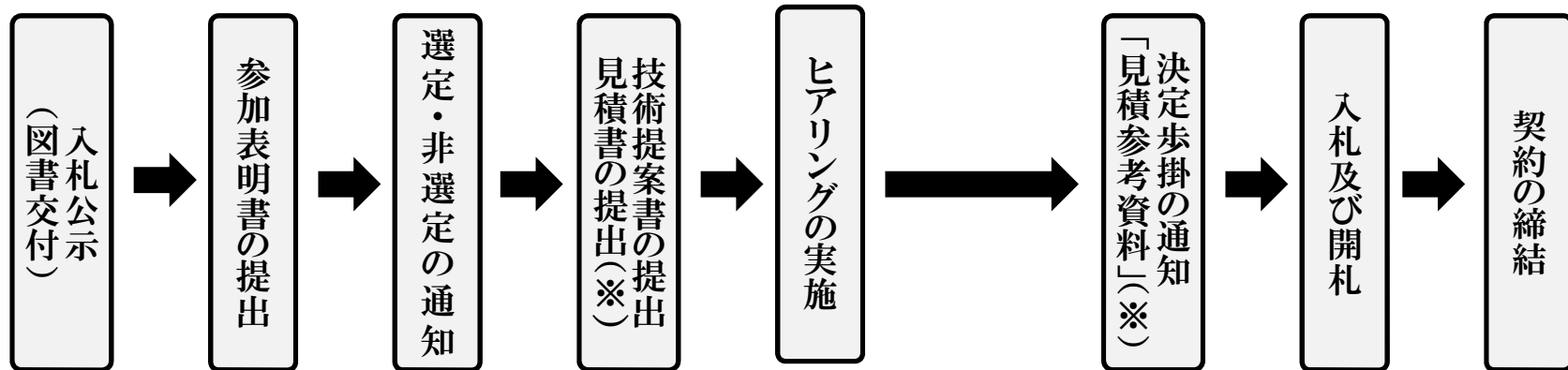
【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1) 若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1) Hi-TeLus (ハイテラス: 阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1) ワンデーレスポンス
 - (2) ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

I-4. 業務の公示～契約までの流れ

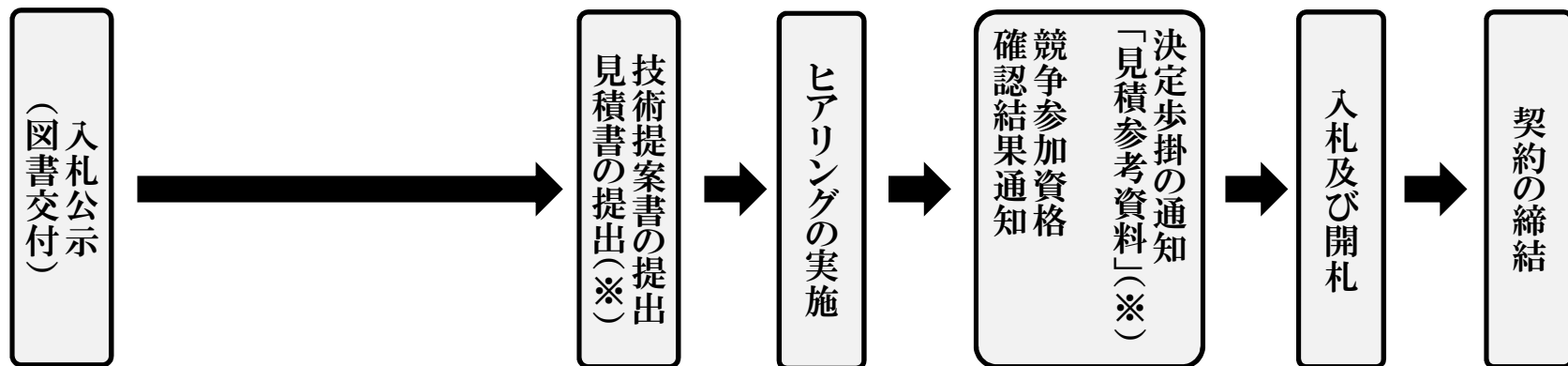
手続きの流れ 総合評価落札方式【公募型・簡易公募型】

(注)：標準例のため、各業務の手続きの流れは、入札説明書を参照してください



(※) 見積書審査方式の場合

手続きの流れ 総合評価落札方式【簡易公募型(手続簡略型)】

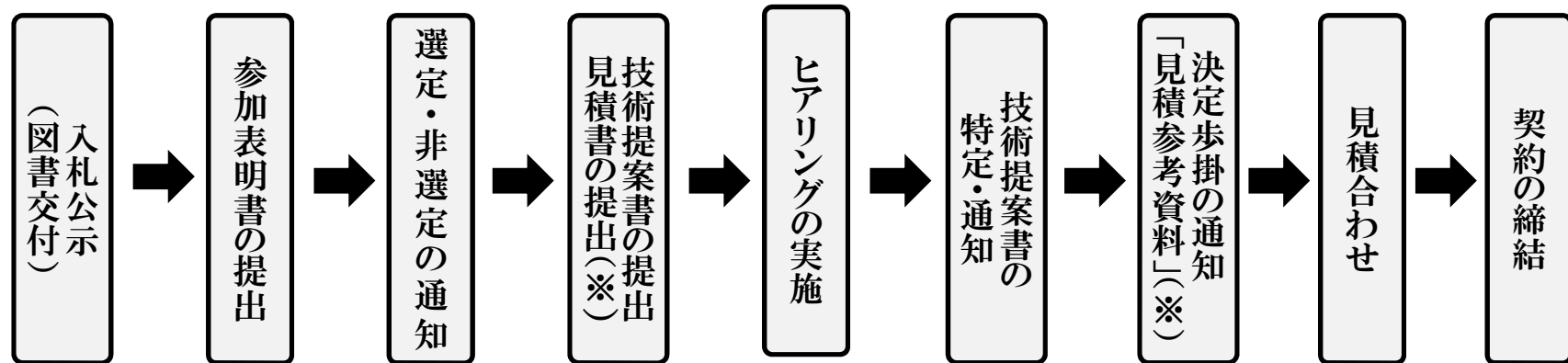


(※) 見積書審査方式の場合

I-4. 業務の公示～契約までの流れ

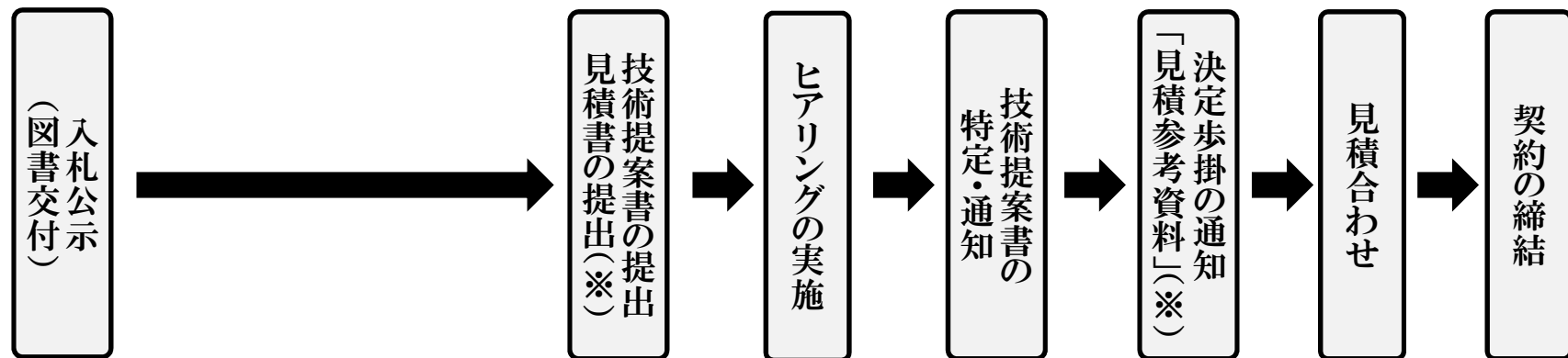
手続きの流れ プロポーザル方式【公募型・簡易公募型】

(注)：標準例のため、各業務の手続きの流れは、入札説明書を参照してください



(※) 見積書審査方式の場合

手続きの流れ プロポーザル方式【簡易公募型(手続簡略型)】



(※) 見積書審査方式の場合

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法**
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

I-5. 総合評価落札方式の評価方法

募集要件

総合評価方式の募集要件の設定

(募集要件は、発注案件の特性に合わせて設定されるため、各業務の参加資格、評価項目(配点含む)は入札説明書を参照してください)

表1 募集要件の標準的な考え方

項目			参加資格	評価項目
認定状況	測量・建設コンサルタント等の一般競争(指名競争)参加資格の認定業種		○	—
地域要件	本支店・営業所の所在地		※1	※1
企業の能力	専門技術力	成果の確実性	同種類業務の有無	○
配置予定技術者の能力	専門技術力	保有資格	管理技術者資格	○
			照査技術者資格	—
			担当技術者資格	—
		業務実績	管理技術者の業務実績	○
			担当技術者の業務実績	—
			管理技術者の技術者表彰、業務表彰、成績評定75点以上の業務の有無	—
	専任制	専任制	若手担当技術者の登用	—
			管理技術者の手持ち業務金額及び件数	○
		担当技術者の手持ち業務金額及び件数	—	

※1：測量業務等で地域特性を理解している必要がある場合に設定する。

I-5. 総合評価落札方式の評価方法

■評価方式

(注): 価格評価点と及び技術評価点の配分点は、各業務の入札説明書を参照してください

<加算式> 評価値 = 価格評価点 + 技術評価点

■評価点の配分

価格評価点と技術評価点の配分 = 1 : 1 ~ 1 : 2

例 技術評価点の配分点が60点の場合

価格評価点30~60点 : 技術評価点60点

■価格評価点の算出式

① 調査基準価格 ≤ 入札価格 ≤ 契約制限価格

$$\text{価格評価点} = (A \times 25\%) \times \frac{(100\% - X)}{(100\% - X^{\text{ck}})} + (A \times 75\%)$$

② 契約制限価格 × 60% ≤ 入札価格 < 調査基準価格

$$\text{価格評価点} = A \times \frac{(X - 60\%)}{(X^{\text{ck}} - 60\%)}$$

③ 入札価格 < 契約制限価格 × 60%

価格評価点 = 0

A : 価格評価点の配分点

$$X : \text{入札率}(\%) = \frac{\text{入札価格}}{\text{契約制限価格}} \times 100$$

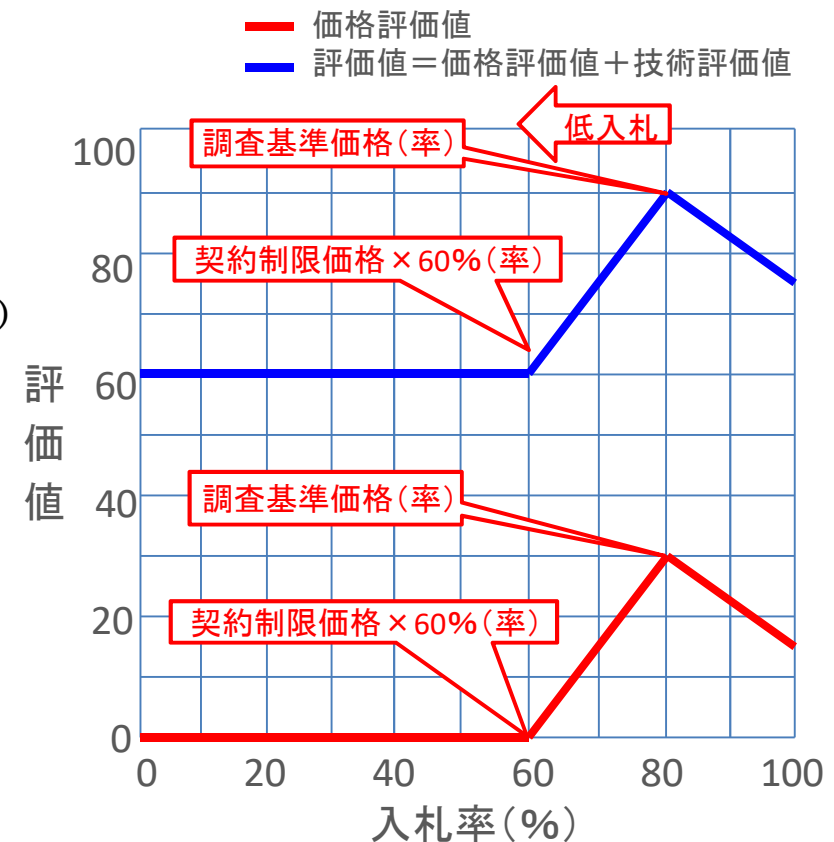
$$X^{\text{ck}} : \text{調査基準価格算定率}(\%) = \frac{\text{調査基準価格}}{\text{契約制限価格}} \times 100$$

■評価値概念図

例 価格評価点の配分 30点

技術評価点の配分 60点

調査基準価格算定率 80% の場合



目次

【Ⅰ．総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法**
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ．業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

I-6. プロポーザル方式の評価方法

募集要件

プロポーザル方式の募集要件の設定

(募集要件は、発注案件の特性に合わせて設定されるため、各業務の参加資格、評価項目(配点含む)は入札説明書を参照してください)

表1 募集要件の標準的な考え方

項目			参加資格	評価項目
認定状況	測量・建設コンサルタント等の一般競争(指名競争)参加資格の認定業種		○	—
地域要件	本支店・営業所の所在地		※1	※1
企業の能力	専門技術力	成果の確実性	同種類業務の有無	○
配置予定技術者の能力	専門技術力	保有資格	管理技術者資格	○
			照査技術者資格	—
			担当技術者資格	—
		業務実績	管理技術者の業務実績	○
			担当技術者の業務実績	—
			管理技術者の技術者表彰、業務表彰、成績評定75点以上の業務の有無	—
	専任制	専任制	若手担当技術者の登用	—
			管理技術者の手持ち業務金額及び件数	○
		担当技術者の手持ち業務金額及び件数	—	

※1：測量業務等で地域特性を理解している必要がある場合に設定する。

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

I-7. 技術提案書の履行義務

- 総合評価落札方式及びプロポーザル方式においては、技術提案書に**履行義務**が発生します。

技術提案書の履行状況については、業務実施中及び業務完了時に発注者による確認を実施



受注者の責により技術提案の履行がなされなかった場合は、業務成績評価において減点

- ★ 履行状況が特に悪質と認められる場合は契約違反として取り扱う場合があります。

目次

【Ⅰ．総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ．業務改善に向けた取組み】

Ⅱ-1. 担い手確保・育成

(1)若手技術者の配置を促す入札契約方式

- Ⅱ-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- Ⅱ-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- Ⅱ-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

Ⅱ-1. 担い手確保・育成

(1) 若手技術者の配置を促す入札契約方式

概要及び目的

- 担い手確保を促すため、若手技術者の登用が進みやすい環境(評価基準)を下記CASEのとおり整備。

【CASE-1】 予定管理技術者に代えて、管理補助技術者の資格、実績等を評価

【CASE-2】 35歳以下の担当技術者を配置する場合、加点評価を実施

現 状



予定管理技術者

【評価対象】

予定管理技術者の資格・実績等

保有資格	管理技術者資格	最大10点
業務実績	管理技術者の業務実績	最大10点
	技術者表彰、業務表彰等	最大10点
専任制	手持ち業務金額及び件数	最大 5点

新たな追加評価基準

CASE-1



予定管理技術者



管理補助技術者

【評価対象】管理補助技術者の資格・実績等

保有資格	管理技術者資格	最大10点
業務実績	管理技術者の業務実績	最大10点
	技術者表彰、業務表彰等	最大10点
専任制	手持ち業務金額及び件数	最大 5点

CASE-2

【評価対象】予定管理技術者の資格・実績等(現行どおり実施)



予定管理技術者



担当技術者(35歳以下)

保有資格	管理技術者資格	最大10点
業務実績	管理技術者の業務実績	最大10点
	技術者表彰、業務表彰等	最大10点
専任制	手持ち業務金額及び件数	最大 5点

【加点対象】35歳以下の担当技術者の配置

加点	若手担当技術者の登用	5点
----	------------	----

目次

【Ⅰ．総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ．業務改善に向けた取組み】

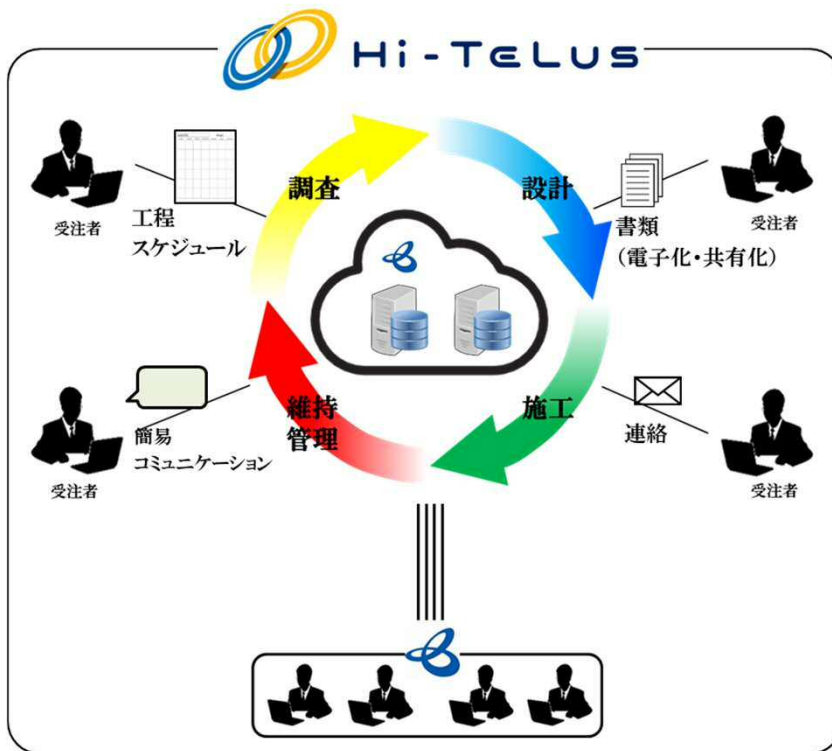
- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus(ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1)設計・施工連絡会議(三者会議)

II-2. 業務効率化の推進

Hi-TeLus (ハイテラス: 阪神高速・工事情報等共有システム)

目的及び概要

品確法の改正(2019年6月)に基づき、発注者の責務として『情報通信技術の活用等による生産性向上』を実現するため、Hi-TeLusの整備、運用を実施。



業務の効率化 コスト縮減

- ・紙の削減
- ・円滑な情報共有
- ・作成書類の削減、効率化
- ・情報を簡易に利活用

書類の電子化

情報共有の 高度化・効率化

- ・多種多様なデータを簡易に共有
- ・データによる高度かつ効率的な情報共有 [例: CIM(3次元モデル)]

クラウドストレージの導入

質の高い・円滑な コミュニケーション

- ・スレッド形式によるコミュニケーションで、情報や書類を簡易に共有
- ・Web会議、Live立会や電子野帳による移動時間の削減、コミュニケーション手段の多様化・質の向上

コミュニケーションツールの導入

目次

【Ⅰ．総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ．業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組**
 - (1) ワンデーレスポンス**
 - (2) ウィークリースタンス**
- II-4. 業務成果の品質確保
 - (1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

Ⅱ-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組

(1) ワンデーレスポンス

「ワンデーレスポンス」の実施

- ・受注者からの問合せ等に対して、1日あるいは適切な期間までに対応することをいい、1日での対応が困難な場合などは回答時期を明確にし、受発注者間での問合せ等に速やかに対応を実施。

実施内容

- ① 問合せに対する回答や対応は、基本的に「その日のうちに」実施。
- ② 即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを確認の上、「対応期日」を予告するなど、次の段取りができるような回答をその日のうちに実施。
- ③ 予告した「対応期日」を超過する場合は、明らかになった時点で速やかに新たな「対応期日」を連絡。
- ④ 措置し得ない事項や判断が困難な場合は、上司に相談し回答を実施。
- ⑤ 打ち合わせ後の議事録に問合せ内容や対応期日及び対応状況について記録することで、関係者同士で取り組み状況について相互に把握。

Ⅱ-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組

(2) ウィークリースタンス

「ウィークリースタンス」の実施

- ・ウィークリースタンスは、受発注者相互で1週間のルールや約束事、スタンスを目標として定め、受発注者間における仕事の進め方を共有し、計画的に業務を履行することで、より一層の業務環境の改善を図ることを目的とする。

実施内容

下記項目を基本とし、受発注者相互で確認・調整のうえ、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

- ①休日明け日(月曜日等)は依頼の期日としない。
 - ②休前日(金曜日等)は新たな依頼をしない。
 - ③ノー残業デーは勤務時間外の依頼はしない。
- (参考)・定時終了間際の打合せはしない。
・水曜日は定時の帰宅を心がける。
・週1回以上は定時に帰るように心がける。

ウィークリースタンスの進め方

- ・初回打合せ時等に、本取り組みの目的及び内容を説明し、実施内容を決定。
- ・受注者は、決定した内容をチェックシート(別紙-1)に整理し、監督員に提出。

ウィークリースタンス実施チェックシート(別紙-1)

(別紙-1)

ウィークリースタンス実施チェックシート

実施日 年 月 日

(1) 業務概要

業務名			
工期			
発注者		受注者	

(2) 就業時間等

発注者		受注者	
始業時間		始業時間	
終業時間		終業時間	
ノー残業デー		ノー残業デー	

(3) ウィークリースタンス取り組み実施内容

	取り組み内容	特記事項	実施 ^{※1}
標準項目	休日明け日(月曜日等)は依頼の期日としない		<input type="checkbox"/>
	休前日(金曜日等)は新たな依頼をしない		<input type="checkbox"/>
	ノー残業デーは勤務時間外の依頼はしない		<input type="checkbox"/>
追加項目 ^{※2}			

- ※1 受注者の希望する実施項目は「」とし、初回打合せを踏まえて実施する項目を「」とする。
 ※2 標準項目以外で取り組み内容がある場合に記入する。

(4) 緊急時等の対処方法

緊急時等の対処方法

- ※ 業務の内容や特性を踏まえ、緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び休日又は夜間作業等により、設定した取り組みが実施できない場合の対処方法(依頼や期日に関する特例)について双方で確認し設定する

(別紙-1)

ウィークリースタンス実施チェックシート (記載例)

実施日 2020年2月25日

(1) 業務概要

業務名	〇〇橋詳細設計業務		
工期	2020年2月25日～2021年2月28日		
発注者		受注者	

(2) 就業時間等

発注者		受注者	
始業時間	9:00	始業時間	9:15
終業時間	17:30	終業時間	18:00
ノー残業デー	毎週水曜日	ノー残業デー	毎月10日、15日、20日、25日

(3) ウィークリースタンス取り組み実施内容

	取り組み内容	特記事項	実施 ^{※1}
標準項目	休日明け日(月曜日等)は依頼の期日としない	月曜日等(第三者の要求対応を除く)	<input checked="" type="checkbox"/>
	休前日(金曜日等)は新たな依頼をしない	金曜日等(第三者の要求対応を除く)	<input checked="" type="checkbox"/>
	ノー残業デーは勤務時間外の依頼はしない	毎週水曜日(第三者の要求対応を除く)	<input type="checkbox"/>
追加項目 ^{※2}	打合せは10時～16時までの時間とする		<input checked="" type="checkbox"/>

- ※1 受注者の希望する実施項目は「」とし、初回打合せを踏まえて実施する項目を「」とする。
 ※2 標準項目以外で取り組み内容がある場合に記入する。

(4) 緊急時等の対処方法

緊急時等の対処方法
休日の作業となる場合は、休日明け日(月曜日等)を業務上の振替休日とする。

目次

【Ⅰ. 総合評価落札方式及びプロポーザル方式】

- I-1. 入札・契約に関する関係法令等
- I-2. 阪神高速の総合評価落札方式及びプロポーザル方式の概要
- I-3. 発注方式の選定の考え方
- I-4. 業務の公告～契約までの流れ
- I-5. 総合評価落札方式の評価方法
- I-6. プロポーザル方式の評価方法
- I-7. 技術提案書の履行義務

【Ⅱ. 業務改善に向けた取組み】

- II-1. 担い手確保・育成
 - (1)若手技術者の配置を促す入札契約方式
- II-2. 業務効率化の推進
 - (1)Hi-TeLus (ハイテラス:阪神高速・工事情報等共有システム)
- II-3. 受発注者のコミュニケーション円滑化等に係る取組
 - (1)ワンデーレスポンス
 - (2)ウィークリースタンス
- II-4. 業務成果の品質確保**
 - (1) 設計・施工連絡会議(三者会議)**

Ⅱ－4. 業務成果の品質確保

(1) 設計・施工連絡会議(三者会議)

目的及び概要

- 必要に応じて公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者(設計業務受注者)及び施工者(工事受注者)の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的及び設計思想・条件等の情報の共有並びに施工上の課題等に対する意見交換等を行う「設計・施工連絡会議(三者会議)」を開催。

